

甲府市スポーツ少年団野球部会 感染予防対策ガイドライン 2020.6

(JSBB 感染予防対策ガイドライン 2020.5.22 現在 公益財団法人全日本軟式野球連盟版引用)

1 【はじめに】

甲府市スポーツ少年団野球部会は、JSBB 公益財団法人全日本軟式野球連盟の要請の趣旨に則り、県の方針に従うなかで感染予防対策に配慮しながら活動を順次再開することとする。

2 【チームの活動について】

当面、最大 50 人程度を上限とする小規模にて、屋外での活動を行うこととし、県外に移動しての活動は控える。

3 【試合について】

当面、最大 50 人程度を上限とする小規模な人の参集をもって行うこととし、それ以上の人が集まらないように、参加チームおよび主催運営側で配慮する。

4 【感染予防対策】

(1) 参加募集時の対応(参加者への事前注意事項)

大会(イベント)参加募集に際して、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めることを通知した上で行う。

なお、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会(イベント)への参加を取り消すあるいは、途中退場を求めることがあり得ることを周知する。

- ・ 選手が自粛期間明けである等の事情を考慮し、大会(イベント)開催の際は健康管理上、十分な準備期間を設けて企画する。
- ・ 発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。また、14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・ 選手、チーム関係者、役員、審判員は、大会(イベント)会場に入る際、必ずマスクを着用する。また、試合時においては攻守交替決定時など、大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行う。

- ・ 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行を徹底する。
- ・ 大会(イベント)当日、参加者全員の健康状態と連絡先などが明記されている名簿の提出を求めることとする。
- ・ 屋外利用施設内において唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・ 感染者が発生した場合には、感染者自身への配慮にも十分留意しながら、大会(イベント)を中止とする。なお、大会(イベント)参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合があることを周知する。

(2) 参加者の対応

- ・ 参加者は検温を実施し会場に来ることを徹底する。
- ・ 参加者(チーム代表者)は健康チェックシート(様式別途)を大会本部に提出することとする。
- ・ 人との距離を2メートル確保する。ベンチ内では一定間隔を保つよう努力する。
- ・ 練習および試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ・ 肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、感染拡大防止の観点に立ち、各々コミュニケーションの方法を工夫すること。
- ・ チーム内および大会において、感染者が発生した場合は、感染者自身への配慮にも十分留意しながら、チームの活動停止ならびに大会の中止とする。
- ・ 競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症の予防にもあわせて十分に配慮すること。

(*(参考)JSBB 方針：球審はマスクを着用することが望ましいが、軟式野球の競技環境および競技の特性を考慮し、選手ならびに球審のマスク着用の義務付けは行わない。)

- ・ 練習および試合において、選手以外の参加者についても密集しての声出しなどの機会は控えること。
- ・ 着用後に汚損等により不要となったマスクなども含め、ゴミは各自持ち帰ること。
- ・ 手指衛生のため、消毒液の使用についても検討すること。
- ・ 応援者については感染拡大防止の観点に立ち、観客席が「密」にならないように一定の距離を保って観戦するなど、チームごとで声出しも含めて応援の仕方を工夫し、応援者に注意喚起を行うこと。なお、運営側でも入口などに貼り紙の掲示や放送による呼びかけの実施に努める。

(3) 運営側の対応

- 健康チェックシート(様式別途)などを作成し、大会(イベント)当日に提出するなど、大会運営スタッフや審判員にも健康チェックを実施する。
- 大会(イベント)会場(練習会場を含む)には、使用上の注意を周知し、消毒液などを設置する。
- 大会(試合)開催の際は、試合間のインターバルを通常より長く設定するなど、選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する。
- 選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮に努める。
- 大会運営は、慣例や慣習を見直し、試合等に特段の支障がないことについては感染予防対策を優先することを基本姿勢とし、大会の運営側とチーム側の双方で創意工夫を図ることとする。

(*(参考)JSBB 例示：試合前の整列は、監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省くなど。)

- 万が一、感染者が発生した場合には、甲府市スポーツ少年団野球部会に速やかに報告する。
- チーム内および大会において感染者が発生した場合は、チームの活動停止ならびに大会の中止を判断し、関係者に連絡する。
- 万が一、感染者が発生したとしても感染者自身への誹謗中傷や非難がないよう全関係者が確認と徹底を図る。
- 観客が入る場合は、密集・密接にならない配慮や大声での応援などを控えるよう協力を求める。
- その他、具体的な対応は大会要項などにおいて示し、周知を図る等、必要な対策を実施する。